

令和2年度第2回大町市ケーブルテレビ放送番組審議会議事録（要旨）

| | |
|-------|-------------------------------|
| 開催日時 | 令和3年3月29日 午前9時30分 |
| 開催場所 | 大町市総合情報センター テレビ会議室 |
| 出席者 | |
| 審議会委員 | 鷺澤 恒夫 降旗 和幸 眞鍋 充善 大谷 由美子 中村 敦 |
| | 内山 喜久夫 細井 忠 |
| 事務局 | 大厩 市郎 倉科 太 宮沢 卓 |

報告事項

(1) 令和2年度放送番組実績等について

・委員からの質問等

○加入キャンペーンは今月までか。工事費が無料だったか。

→引き込みの工事費が無料である。

審議事項

(1) 令和3年度放送番組編成等について

・委員からの質問等

○芸術祭関係の生放送等はあるのか。

→場所によって光ケーブルが通っていないところがあるので、町中などの限定的な中継になると思うが、できる限り調整して放送したい。

○聖火リレーが4月2日にあるが放送できるか。

→中継等考えていたが、IOCのメディア向けの規定によると、収録して72時間以内にニュース番組で流すものしか許可が下りないため、放送が難しく断念した。ただ写真は使用期限がないので、広報で撮影した写真等を使って放送したい。

(2) 放送番組の視聴と感想

(第499回きらりステーションを視聴)

・委員からの意見等

○ニュースの部分がよくできていると思った。

○ニュース番組がわかりやすく構成されていた。悪い部分としては、文字が明朝体で多少見にくい程度で、全体的にととてもよく作り込まれていて、取材にもちゃんと力を入れていると感じた。情報コンシェルジュも起承転結がわかりやすく、どの年代に人が見てもいいと思えるような番組に仕上がっていると思う。コンシェルジュの中の背景が少し毒々しい場面が気になった。

○地区でどんな会議があるか知らない方もいると思うが、こんな会議を進めながら大町市のことをもっとよくしようとする人たちがたくさんいることをアピールする上でとてもよい番組だと思った。アナウンサーの声も聞き取りやすく、そこだけはローカル感を感じず、他の放送局にも引けをとらない印象をいつも感じている。

○大町市のケーブルテレビがスタートするときに関わっていたこともあり、普段から見るようにしている。スタートの時はアングルや撮り方がよくなかったが、今はかなりこなれてきて、見ても違和感がない映像になっている。ただ、運動会のような走るところを撮るときの構図が今ひとつかなと思う。

○きらりステーションの500回は何か記念の企画等はあるか。

→500回記念として、安曇野ケーブルテレビとタイアップして、安曇野ケーブルテレビの番組である「ガラポンでいこう」で大町市内の自慢したいお店や皆さんが知らない部分取材して放映する。これから安曇野ケーブルテレビの番組を定期的に放送して行く予定になっている。

(3) その他

・委員からの意見等

○番組の中で、政府の広報が入っていたが、一般の広告も載せることができるか。事例はあるか。
→広告の基準であったものであれば載せることができるが、一般のものはこれまで事例はない。
金額については規定されている。